

り災申告書記載要領

年 月 日

茨城西南広域消防本部  
消 防 署  
署 長 殿

申告者 住 所

職 業

電話（ ）

氏 名

㊞

車両・船舶・航空機り災申告書

り災年月日	年 月 日	り災物件と申告者との関係	1 所有者 2 管理者 3 占有者
り災場所			
1 車 両	運転者氏名		年 式
	用 途		購 入 年 月 年 月
	車 両 番 号		購 入 金 額 円
	焼けた箇所		そ の 他
2 船 舶 航 空 機	船長・機長名		船名・機種
	用途・機種		就 航 年 月 年 月
	ト ン 数 最大離陸重量		購 入 金 額 万円
	焼けた箇所		そ の 他
積 載 物	焼けた物	そ の 他	損害見積額 円
	り災物件との関係	1 所有者 2 管理者氏名（ ）	
火 災 保 険 の 契 約	契 約 会 社 名	保 険 金 額 万円	

備考 1 この申告書は、消防法第34条に基づき提出を求めるものです。り災した日から起算して7日以内に提出して下さい。

2 車両の「用途」欄には、乗用車、貨物車、タクシー等の別を記入して下さい。

3 船舶・航空機の「用途・機種」欄には、客船、貨物船、旅客機、練習機等の別を記入して下さい。

4 積載物の欄には、損害を受けた物品名と時価に見積った損害額を記入し、申告者と積載物の所有者等が異なる場合にのみ氏名を記入して下さい。

①の欄

- 1 り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。
- 2 り災した場所の欄は、車両などが火災になった場所を記入してください。

②の欄

- 1 用途別の欄には、貨物、貨物乗用、タクシー、乗合バス、機関車、客車などの別を記入してください。
- 2 車両番号の欄には、陸運局に届け出ている車両登録番号などを記入してください。

③の欄

用途・機種の欄には、客船、貨物船、旅客機、観測機、練習機などの別を記入してください。

④の欄

積載物の欄には、損害を受けた物の品名と時価に見積もった損害額を記入し、また、申告者と所有者が異なる場合にのみ氏名を記入してください。

⑤の欄

車両等の火災保険に加入している場合のみ記入してください。

備考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、1台(機一般)ごとに提出してください。
- 3 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- 4 火災によるり災証明を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行することができます。
- 5 この申告書でわからないことがありましたら、下記消防(分)署までご連絡ください。
  - 消防署           電話番号
  - 分署               電話番号